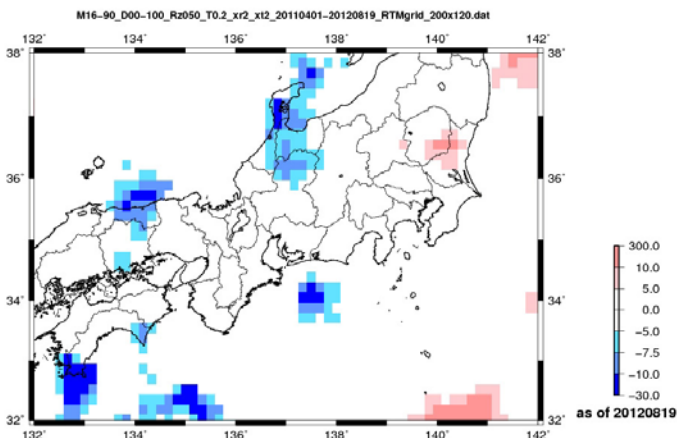
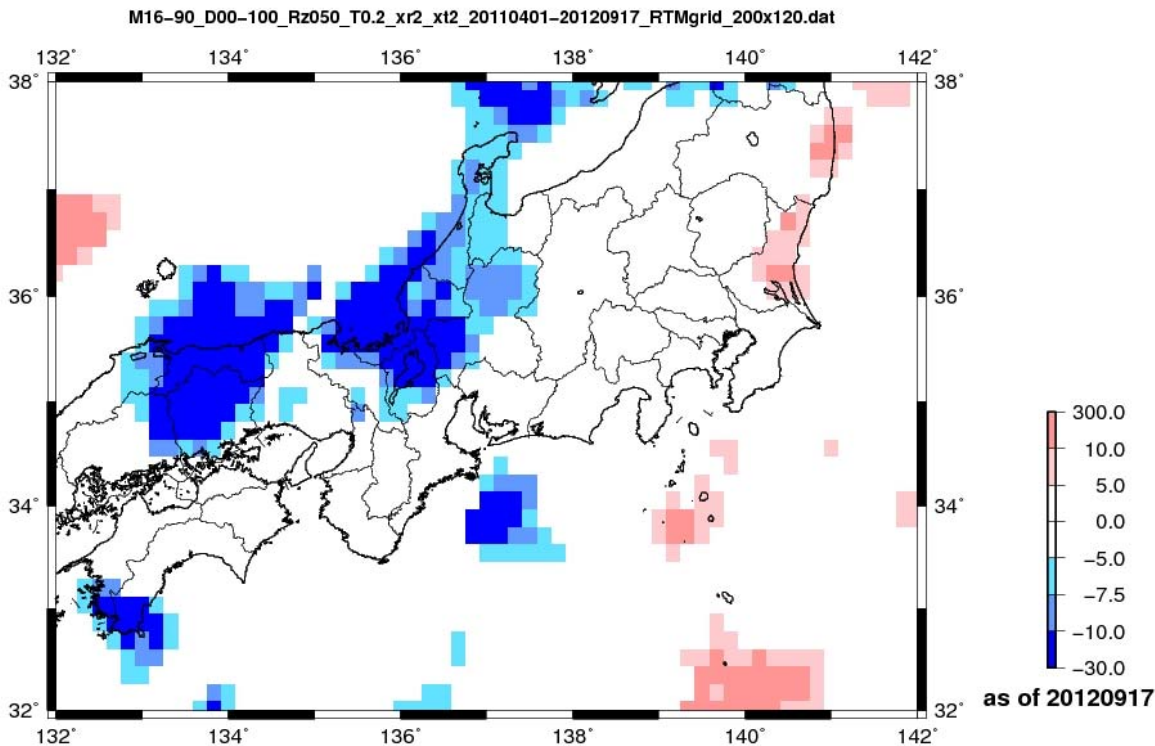


9月17日時点での地下天気図

ここ一か月で、関東・中部・関西の状況がかなり変化している事が判明しました。北陸地方の静穏化は戻りつつあります（完全に戻ってから発生するパターン多し）。

そしてかなり顕著な静穏化領域が複数ある事がわかりました。前回、鳥取県周辺、四国南西部（日向灘）の静穏化についても触れましたが、滋賀県・若狭湾周辺、鳥取周辺、四国南西部（日向灘）、紀伊半島沖の静穏化が現在進行している事が判明しました。十分注意すべき状態です。西南日本全体の地震発生の場合（状況）が変わってきたとも判断できます。



8月20日時点の地下天気図（参考）

東北日本沖および北海道沖の状況（海域の地震）

この領域では、静穏化領域（異常領域：図中では青色の領域）は確認されておりません。マグニチュード5クラスの余震活動は今後も続きますが、深刻な状況では無いと判断しています。

いくつか見える赤い領域は最近の地震活動の活発化によるものです。

